

2013 Vol.89 3月

# 広報つわの



いざ  
春のセンバツ





# 町出身の2人 春の選抜へ出場

3月22日から開催される第85回記念選抜高等学校野球大会に益田市の島根県立益田翔陽高等学校が出場します。その出場メンバーの中に津和野出身の生徒がいるということで放課後の練習に少しお邪魔して、彼らの大会や野球にける思いを聞くことができました。

## 現役津和野高生が考える 津和野高校の魅力とは

2月8日金曜日、益田市にあるグラントワで「知事と語ろう！高校生フォーラム」が開かれ、益田市・鹿足郡の高校生が出席し、津和野高校2年生の前田素美さんが「学校の魅力化に向けて」というテーマで発表をしました。

発表の中で前田さんは「津和野高校の生徒数はここ数年で急激に減少しており、部活動では部員不足に悩まされています。そこで津和野高校の生徒はこの事をどのように考えているのか、また今の津和野高校の魅力は何なのか、といったアンケートをとりました。

その結果、津和野高校の現状に危機感を感じている生徒が半数程度であることが分かり、魅力としては他校に見られない文化部の合同公演会

JAMや鍛錬行事といったイベント、少人数で手厚い指導があげられました。津和野高校は十分魅力がある高校なので現状について生徒みんなが何ができるか考えています」と、話していました。

その後、溝口善兵衛島根県知事を交えたディスカッションでは、2年生の宮島伸枝さんが地域資源のブランド化について、津和野の歴史的で風情のある町並みと温かい高齢者の力を借りて空き家で田舎体験をする体験型観光地という提言を出しました。

最後に宮島さんは「自分の町について考えるよいきっかけとなった。地域のことをもっと考え、育ててくれた人や地域に貢献したい。」と感想を話していました。



末永 匠さん

津和野中学校から翔陽高校へ進学し、現在2年生。野球を始めたのは中学生の時からで現在のポジションは右翼手(ライト)



大羽 央直さん

昨年春に津和野中学を卒業し、現在1年生。野球は小学校から始め、現在のポジションは遊撃手(ショート)

選抜出場が決まった時の感想は？

末永 最初は素直にうれしかった。去年10月に開催された秋季中国地区大会にも出場できたし、選抜大会の候補に名前が挙がった時には『もしかしたら出場できるかも知れない』と思っていた。

大羽 嬉しかった。けどさすがに大きな大会に出場することへの期待と不安も感じた。

野球のおもしろさって？

末永 いろいろあるけれど、試合の時にチャンスの場面で、自分のバットで点が入って試合の立役者になった時がおもしろい。



貴重な時間を割いて取材に答えてくれました。

大羽 やっぱり普段の練習の成果がしっかりと発揮できて、それが勝利という結果に現れるのが一番おもしろいと思う。

大会にかける意気込みをお願いします

末永 初めての大会で緊張すると思うけど、これまでの練習で積み重ねてきた事を大切にしながら良い結果が残せるように自信を持って堂々とプレーできるように頑張りたい。

大羽 初めての甲子園の舞台で期待と不安があるけど、これまでの練習で積み重ねてきたことと、大会までの期間にしっかりと自分ができることを大切にして、正々堂々と勝負したい。

大会まであとわずか、彼らが大会で活躍することを期待して大会を待ちましょう！



大会は約1カ月後。1秒たりとも無駄にはできない日々が続きます。



綺麗に整頓された道具たち。試合の結果だけでなく、スポーツ選手としての模範となるような素晴らしい姿勢も高く評価されています。

# 第23回つわのSL健康マラソン

3月10日(日) 9:20 ~津和野高校グラウンドスタート



今年で23回目を迎えるつわのSL健康マラソン。毎年多くの参加者と沿道からの熱い応援で、町内外から多くの方に参加をいただいています。今年にはゲストランナーに1987年のロンドンマラソン優勝の経験を持つ谷口浩美さんを迎え、早春の津和野路を多くのランナーと一緒に駆け抜けます。選手たちへ皆さまの熱い応援をよろしくお祈りします。



招待選手の谷口浩美さん

## 津和野・森鷗外記念館オリジナル『鷗外トランプ』&『森志げ小説全集』大好評発売中!

津和野が誇る文豪森鷗外。その生涯で刊行した書籍の表紙の数々をトランプの柄にしました。また、鷗外の妻・志げの全小説をまとめた「森志げ小説全集(上下巻)」を刊行。家庭生活の危機を乗り越えようとした鷗外は志げに小説の執筆を勧めました。そうして誕生した志げの小説作品全部が読めるのは、この本だけです。

【トランプ】945円【森志げ小説全集】4,725円【問】森鷗外記念館 ☎ 72-3210



# 1年間の活動報告とともに

今年度、町のInnovation For Japan 事業として首都圏から町の活性化に「町長付け」として取り組んだ4人の若者たちがそれぞれ独自に取り組んだ”町おこし”。1年を通して取り組んだ内容をお伝えします。  
【問】営業課 ☎ 74-0092

Innovation For Japan  
2012 年度報告会

3/2 13:30~17:00  
日原山村開発センター

3/3 9:30~16:00

JR津和野駅前  
津和野さんぽ路  
リリース記念イベント

私たちの活動報告と作成した観光マップを使ったイベントを行います。ぜひお越し下さい。  
詳しくは下記の問い合わせまでご連絡ください。

お問い合わせ  
津和野町役場 営業課  
TEL:0856-74-0092 E-Mail:ifj.tsuwano.event@gmail.com



## 地元の人ならではの情報を若者へ！

石川葉子

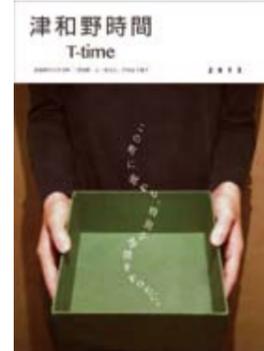
この1年間で私が取り組んだ事は、津和野の魅力を他県へと発信する冊子『津和野時間 T-time』の発行です。

若い層、特に女性の個人客、にどのようアプローチするか、また津和野がどのような場所か、新しいイメージを作る事が、今後の津和野町の観光において重要だと考えました。

町の方に取材や撮影のご協力をいただき、いままで観光雑誌には載る事の無かった朝や夜の津和野の景色、人々などを切り取った内容となっています。  
現在4人で取り組んでいます。

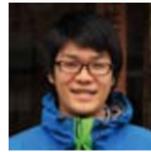


秋時期によく見られる雲海



若い女性をターゲットにした女子力の高い冊子「T-time」

この1つとして、まちあるきを楽しむためのマップがありますが、観光に来る際に大事にするのは、町に来てからの情報はもちろん、町に来るまでの情報やイメージです。私も含め、関東に住んでいる同世代の人は、津和野の名前も知りません。  
残り1ヶ月は、今回の冊子を島根県外や首都圏の飲食店や雑貨店などの場所に配置する予定です。3月3日のまち歩きイベントの際にも設置予定です。興味のある方は手にとって見て下さいね。



## 教育から津和野を元気に！

福井健

私は津和野高校魅力化支援に取り組んできました。現在、高校では定員割れが続き、それに伴い教員の数も減る中で、県では県立高校再編成の話が進んでいます。

町から高校がなくなれば、若者が減り、町全体の活気もなくなってしまう。そこに歯止めをかけるために、多くの高校生が「ここで学びたい！」と思えるような学校作りのお手伝いをしてきました。

夏には全国から20数名の大学生を集め、生徒と対談する「つわの夢ゼミ」を行い、津和野にいない「大学生」という先輩達の背中を見て、高校生に自分の今後の進路を考えてもらう企画を行いました。観光ではなくとも、こうした企画があることで、都会の大学生が「津和野」という地域に関心を持ち、交流することが



夢を語る学生と現役大学生の合流イベント「夢ゼミ」の様子

また、9月からは生徒の要望に応える形で「自習室」を開放しました。ここでは、今後の人生や町の事についてなど、高校生と幅広い対話をすることを大事にし、学ぶための動機や「津和野に帰りたい！」という想いを育むことに重点をおきました。大学合格実績もできました。  
来年度は、こうした小さな取り組みを持続的に継続させ、もっとたくさんの人に「津和野で学びたい！」と思ってもらえるよう、日々頑張る津和野高校の先生方と共に取り組みを行っていきたくて考えています。



## 景観を守るための空き家対策！

畔柳知宏

「町が増えてきている空き家がつくるさみしい景色をなんとかしたい」そう考えて僕の取り組みはスタートしました。

そこで考えたのは、まず町並の可能性をいろんな人に伝えてみようということでした。イベントとして本町からのびる路地の一角を借り切って、町のいろんな方々に助けていただきながら、2日間限定で町のお菓子とざら茶が楽しめるカフェスペースをつくりました。



町の新しい利用を試みた津和野ラウンジ

「古いものを残そう」ではなく「居心地の良い場所をみんなでもっと増やそう」、そういう感覚で楽しく、結果的に古いものが残っていったらいいなという思いが伝わればよかったと思います。  
町中のイベントを通して、ただイベントをやっただけで、来てもらった人に感じてもらうだけでなく、実際に空き家に対して自分から関わっていかなくてはと思うようになりました。  
そこで今は考えてみる場所を町の周辺部に移し、地域の方が空き家を見守り、空き家を管理しながら、その情報の発信を行う仕組みづくりを地域の方と協力して行っています。詳しくはP6の「Innovation For Japan 通信」を読んでみて下さい。



## 農業の担い手を増やしたい！

坂和貴之

この1年間で私が取り組んだこととして、新規就業者対策事業の農業実践プログラムがあります。

これは、毎月1回、週末に、1泊2日で農家のお家に泊まりながら農作業を体験するプログラムです。

今は別の仕事をしているけれど将来的に就農を考えている方や、農業をはじめたいけれどまだ生活のイメージがつかめないといった方を対象に、9月から全6回で実施しています。プログラムでは、その時期毎に農家の人が行なっている作業を体験します。少しずつ成長を見ながら作業を行っていく中で、農業の



実際の農家で作業を手伝いながら生活のイメージをつかむことができます。



一定期間継続して参加するため、実際の農業の作業工程が把握できるのもこのプログラムの特徴です。

やりがいや、1方できびしさを感ずることができず。毎回4〜5名の方がプログラムに参加し、県外から津和野町に通っています。  
残すところ3月の開催のみとなるこのプログラムですが、津和野町に移住をしたいと継続して参加していただいている方のためにも、また津和野町の農業の担い手育成のためにも、今後できることを考えています。  
今回の反省を活かし、来年度以降も継続していただけるようにしたいと思います。

# 在宅当番医の 診療時間が変わります

鹿足郡医師会 津和野町 吉賀町

【問】医療対策課 ☎ 72-4088

## 日曜・休日・祝日の急を要する患者さんの診療について

鹿足郡医師会では、救急医療対策の一環として、郡内の町と協力し合い、内科系の急な患者様に対処するようにしています。

## 日曜・休日・祝日の救急診療の診療時間の変更

郡内の医師が一人、当番医院において診療をしています。  
診療時間が以下のとおり平成 25 年 4 月から変更となりますのでご注意ください。

平成 25 年 4 月当番分より  
【変更前】 午前 9 時～午後 4 時  
↓  
【変更後】 午前 9 時～午後 1 時

日曜・休日・祝日の在宅当番の医院につきましては、町ホームページ・各町の消防分遣所・役場（日直）・ケーブルテレビでも確認できます。なお、各町の広報等でお知らせしている場合でも、変更になっている場合がありますので、受診の際は当番医院を確かめてください。

以上のように、皆様の医療に関する不安に応えることにしていますが、在宅当番医はあくまで急な患者様のための対策ですので急病以外の方は平日の診療時間内に受診していただきますようご協力をお願いします。

平成 25 年 3 月～4 月までの在宅当番表

月	日（曜日）	医療機関名	診療時間
3 月	3（日）	栗栖医院	午前 9 時～午後 4 時
	10（日）	小笠原医院	
	17（日）	つわぶき医院	
	20（水）春分の日	増野医院	
	24（日）	津和野共存病院	
	31（日）	松浦内科胃腸科	
4 月	7（日）	和崎医院	午前 9 時～午後 1 時
	14（日）	栗栖医院	
	21（日）	増野医院	
	28（日）	つわぶき医院	
	29（月）昭和の日	小笠原医院	

50 年後の日本を想像してみる……



畔柳知宏

今回は僕が行っている空き家対策をテーマとした活動の紹介をします。またこれを通して、町の方ひとりひとりが空き家をなくすために取り組めることもあるのかなと思うこともあったので、合わせて書いてみます。せっかくなので、空き家についていろんな方に考えていただければと思います。

# Innovation For Japan 通信

【問】営業課 ☎ 74-0092

地域の方と  
空き家対策を  
行っています



僕は今、左鏡の方たちと協力して、地区にある空き家を自ら見守り、管理しながら、その情報発信を行う仕組みづくりを行っています。  
空き家に対して地域がどんなことができるのかを話す中で、この方たちが一番、空き家の場所やその持ち主を知っていることに気づきました。  
そこで、町が行っている「空き家バンク」制度に登録してもらうことができれば、新しく地域に住もうと思う人が現れると考え、まず左鏡の方に持ち主の方と連絡を取ってもらい「空き家バンク」への登録をお願いしました。  
しかし他所から知らない人が来ても困るという本音もあります。ならば逆に「どんな人に来てもらいたい？」と意見を伺うと、「農地を守ってくれる人」、「地域活動に参加する人」といった地域の声があることが分かり、インターネットで空き家の情報を発信

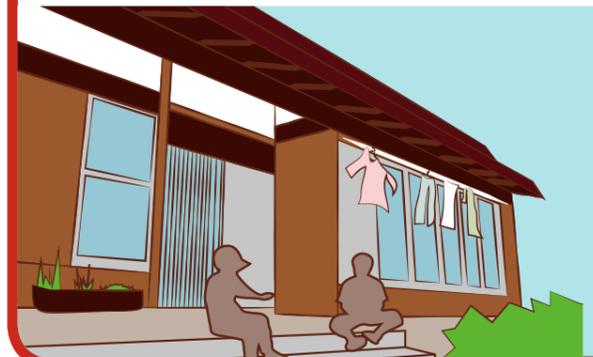
するときはその地域の声も一緒に伝えられるようなウェブサイトを制作することにした。  
実際に空き家に足を運ぶ中で、わずか数人が住まなくなっただけで、荒れてしまう様子に驚きました。そこで左鏡では、地域の方が協力して空き家の見守りや管理をしてみようかな」と、考えてもみることができるところです。  
このテーマに取り組む中で、もつと多くの人が「自分の家が空き家になってしまったときどうするか」を考えた。必要なのはと感じました。  
現在の荒れてしまった家は、様々な事情のなかで放置されてしまった結果なのでしよう。個人の持ち物である家は持ち主以外だれも使うこ

一人ひとりが  
できること



とも片付けることもできません。でもそんな家に新たに人が住むことができれば、地域に人が移住するきっかけになるものかもしれないです。  
空き家になりそうだと思うたら、家族や地域、役場、信頼できるところに相談してみたい家がある活用できるような考えをもらえたらと思います。自分が建築の勉強をしてきたからかもしれないですが、誰にも考えられることなく家を朽ちさせてしまうのは、すごく寂しいと感じました。  
左鏡で取り組んでわかったことは、いろんな方が「どんな人ならその地域と一緒に暮らしていけるのか」を考えることが出発点だということ。そしてそのイメージに近づけようと活動することが大切なのだと感じました。  
そんな思いのある人たちが集まれば、地域に何軒空き家があるのか、誰の持ち物なのか分かります。そしてその

地域の方が  
できること



持ち主と話してみても、なんとか空き家を使えるようにしてもらえないか相談することまでできます。地域の思いを伝えることが空き家を減らすことにつながります。  
これは左鏡地区を対象としたモデル事業ですが、多くの地域でこの取り組みが広がっていき、町と移住者、お互いが良い関係を築けると思っています。そのためにはその地域の人の力が不可欠です。もし、空き家があるけどどうしたらいいかわからない、そんなことがあれば 3 月の終わりにぜひ一報ください。

# 「伝統的建造物群保存地区」を決定

国への選定申し出手続きを行います

【問】建設課 074-0081  
教育委員会 072-1854



津和野町では、橋北地区における国の「重要伝統的建造物群保存地区」の選定の申し出を行うため、現在様々な手続きをすすめておりますが、2月4日付けで、都市計画区域内において「伝統的建造物群保存地区」の決定がおこな

## ■都市計画区域とは

本町が有する豊かな自然環境や歴史的・文化的資源を保全・活用したまちづくりを進めるうえで、都市機能の無秩序な拡散を防止するため旧津和野町の橋北地区及び橋南地区において都市計画法に基づく「都市計画区域」が指定さ

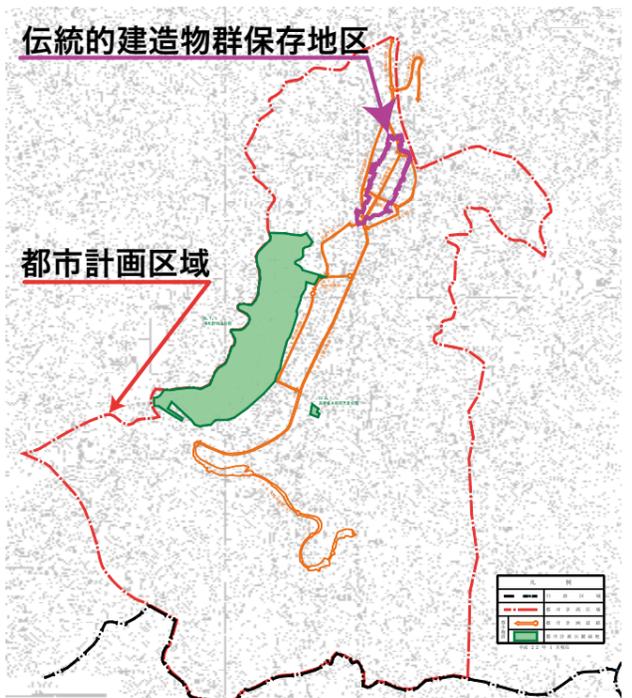


図1. 都市計画区域と伝統的建造物群保存地区 (都市計画図)

れていきます。この都市計画区域内での各種決定については、都市計画法に基づいて行われることとなっております。今回の「伝統的建造物群保存地区」の決定についても、法に従い地域住民のみなさんへの説明会、公

聴会、さらには広報などを通じて周知、及び縦覧等を行ってきました。また、その後町の都市計画審議会、県知事の同意を得た上で、2月4日付けで決定されたものです。

## ■条例に基づく手続き

都市計画決定により、保存地区(図1・2)内においては、「津和野町伝統的建造物群保存地区保存条例」が適用にな

り、保存地区内のすべての建築物や工作物(※1)の新築・増築・改築・移転または除去など(「現状変更」といいます。)を行う場合には、事前に町の許可を得る必要があります。

例施行規則」に従って手続きを行うていただくこととなりますが、場合によっては許可がされない場合がありますので、計画が持ち上がった場合には早めに教育委員会に相談していただくことが必要です。

## ■修理に対する補助

条例では、「建築物および伝統的建造物群の一角をなす環境を保存するため、特に必要と認められる物件の管理、修理、修景又は復旧」に対し

て補助することができるようになっておりますが、その前提として、現在町が国に対して申し出を行っている国の「重要伝統的建造物群保存地区」の選定を受ける必要があります。

現在、5月に行われる国の審議会へ諮るよう申し出を行っており、早くても7月ごろの告示となり、実際の補助は来年度からなる見込みです。具体的な手続き等については、今後広報などを通じてお知らせします。



条例が適用になる地区の一部写真

和野町伝統的建造物群保存地区保存計画(※2)に従って行われます。具体的な手続きについては、「津和野町伝統的建造物群保存地区保存条

※1 伝統的建造物だけでなく、近年建てられたすべての建築物および工作物が対象になります。

※2 「津和野町伝統的建造物群保存地区保存計画」は、現状変更の許可や、補助の基準などを具体的に示したものです。教育委員会で閲覧することができます。

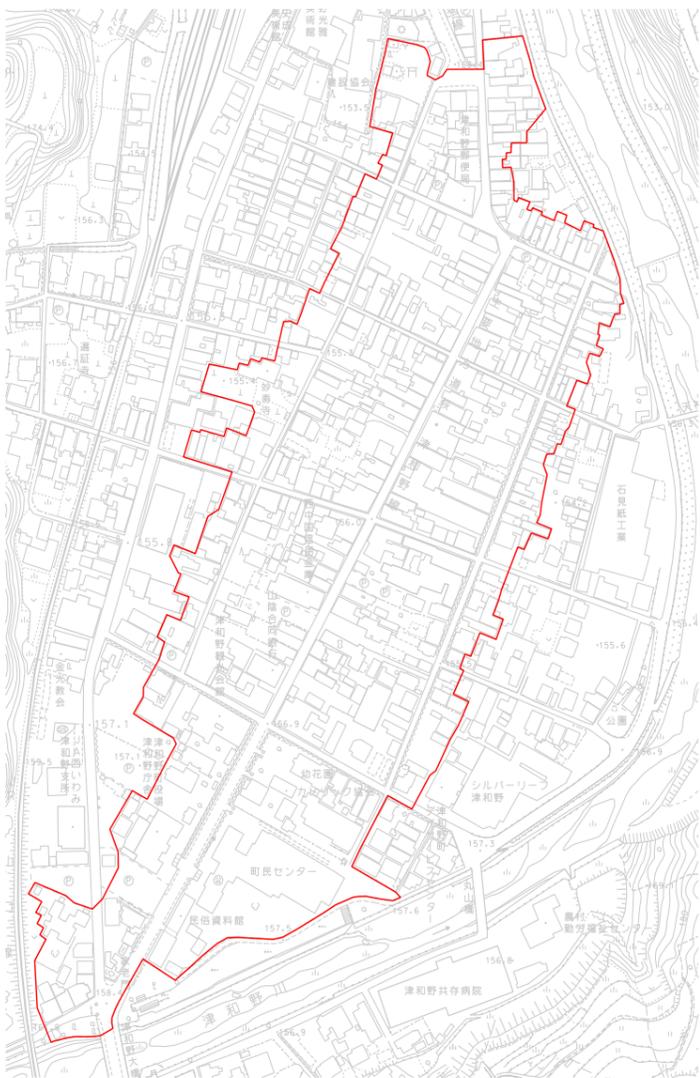


図2. 都市計画による保存地区